

■ 定格総荷重表

② アウトリガ不使用

【ブーム】 巻掛本数：4本、2本

単位:(t)

ブーム長さ	静止時						走行時 (1.6km/h以下)					
	5.5m		9.2m		12.9m		5.5m		9.2m		12.9m	
作業半径	前方	全周	前方	全周	前方	全周	前方	全周	前方	全周	前方	全周
1.0m	3.6	2.8	3.6	2.8			3.2	2.0	3.2	2.0		
1.5m	3.6	2.8	3.6	2.8	3.6	2.8	3.2	2.0	3.2	2.0	3.2	2.0
2.0m	3.4	2.8	3.4	2.8	3.4	2.8	3.0	2.0	3.0	2.0	3.0	2.0
2.5m	3.1	2.15	3.1	2.1	3.1	2.05	2.8	1.55	2.75	1.5	2.65	1.45
3.0m	2.65	1.6	2.6	1.55	2.55	1.5	2.4	1.1	2.3	1.05	2.2	1.0
3.5m	2.3	1.25	2.2	1.2	2.1	1.1	2.0	0.85	1.9	0.75	1.8	0.65
4.0m	2.0	0.9	1.9	0.8	1.7	0.7	1.7	0.6	1.65	0.5	1.5	0.4
4.5m			1.6	0.5	1.4	0.4			1.4	0.3	1.25	
5.0m			1.3		1.1				1.15		1.0	
5.5m			1.1		0.95				0.95		0.85	
6.0m			0.9		0.8				0.8		0.7	
7.0m			0.5		0.5				0.45		0.45	
A(°)	0~82		31 ~82	53 ~82	54 ~82	66 ~82	0~82		31 ~82	53 ~82	54 ~82	68 ~82

A:ブーム角度の範囲(無負荷時)

【ブーム】 巻掛本数：1本

単位:(t)

ブーム長さ	静止時						走行時 (1.6km/h以下)					
	5.5m		9.2m		12.9m		5.5m		9.2m		12.9m	
作業半径	前方	全周	前方	全周	前方	全周	前方	全周	前方	全周	前方	全周
1.0m	3.2	2.8					3.2	2.0				
1.5m	3.2	2.8	3.2	2.8			3.2	2.0	3.2	2.0		
2.0m	3.2	2.8	3.2	2.8	3.2	2.8	3.0	2.0	3.0	2.0	3.0	2.0
2.5m	3.1	2.15	3.1	2.1	3.1	2.05	2.8	1.55	2.75	1.5	2.65	1.45
3.0m	2.65	1.6	2.6	1.55	2.55	1.5	2.4	1.1	2.3	1.05	2.2	1.0
3.5m	2.3	1.25	2.2	1.2	2.1	1.1	2.0	0.85	1.9	0.75	1.8	0.65
4.0m	2.0	0.9	1.9	0.8	1.7	0.7	1.7	0.6	1.65	0.5	1.5	0.4
4.5m			1.6	0.5	1.4	0.4			1.4	0.3	1.25	
5.0m			1.3		1.1				1.15		1.0	
5.5m			1.1		0.95				0.95		0.85	
6.0m			0.9		0.8				0.8		0.7	
7.0m			0.5		0.5				0.45		0.45	
A(°)	0~82		35 ~82	56 ~82	56 ~82	67 ~82	0~82		35 ~82	56 ~82	56 ~82	69 ~82

A:ブーム角度の範囲(無負荷時)

② アウトリガ不使用時の注意

1. 定格総荷重は、水平堅土上においてタイヤのエア圧が規定圧(900kPa{9.00kgf/cm²})で、かつ完全にサスペンションロックした場合の値で、つり具とフック質量(13t吊フック(4.9t吊フック):130kg、または3.2t吊フック:50kg)を含んだ値です。太線より上はクレーンの強度によって定められ、下は安定度によって定められています。実際の作業では、地盤、作業状態等を考慮して使用してください。
2. 作業半径は、ブームおよびタイヤのたわみを含んだ実際の値に基づいていますので、必ず作業半径を基準にしてください。
3. 定格総荷重表は、フックのワイヤロープ巻掛本数によって異なります。
4. 高速巻き上げ作業、高速巻き下げ作業、ブーム長さが12.9mを超えるブーム作業およびジブの使用はしないでください。
5. 「前方」のクレーン作業は、AMLの「前方位置シンボル」が点灯しているときに行ってください。前方の範囲は、ブームがキャリヤの前方2°以内です。
6. つり荷走行は、「駆動モード切換」スイッチを「4WD低速走行」にし、シフトスイッチを1速にして行ってください。
7. つり荷走行は、旋回ブレーキをかけ、荷が振れないように地面近くに保持し、1.6km/h以下で行ってください。
特に急ハンドル、急発進、急ブレーキは避けてください。
8. つり荷走行中には、クレーン作業を行わないでください。

